

議会だより

第7回盛田幸妃杯少年野球大会 鹿部クラブズ3位



第43号の掲載内容

- 第3回定例会の概要……………2P～3P
- 一般質問……………4P～7P
- 臨時会・委員会の活動……………7P～8P

第7回盛田幸妃杯少年野球大会が10月9日、11日の両日、山村広場野球場他で行われ近隣市町から12チームが参加し、球児たちによる熱戦が繰り広げられました。鹿部クラブズは準決勝で大中山に敗れ3位となりました。

発行／鹿部町議会 編集／鹿部町議会運営委員会

委員長 盛田 鐵次、副委員長 船橋 敦子
委員 浦 梅吉、佐藤 頼幸

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜299
TEL 01372-7-2111 (内線 212. 213) FAX 01372-7-3086

平成22年第3回定例会は、9月14日に招集され会期を4日間と決め町長の行政報告のあと、3名の議員が一般質問を行いました。また、議案5件、認定6件、報告2件、同意3件、意見書案1件の審議を行い、全て原案のとおり可決し会期を2日残して閉会しました。なお、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

○平成22年度一般会計補正予算1,041万5千円を議決

子宮頸がんワクチン予防接種委託料185万円、鹿部バイパス整備に伴うパークゴルフ場改修工事請負費350万円等。

○平成22年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算369万8千円を議決

○平成22年度介護保険事業特別会計補正予算262万9千円を議決

○鹿部町教育委員会委員3名の任命に同意

○平成21年度決算認定41億1,220万円を審査

◎補正予算

△平成22年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ1千41万5千円を追加し、予算総額を27億89万1千円としました。

内容は、国税連携システムの構築及び改修費用2百94万6千円、子宮頸がんワクチン予防接種委託料百85万円、パークゴルフ場改修工事請負費3百50万円の追加が主なものです。

△平成22年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ3百69万8千円を追加し、予算総額を9億3千7百88万9千円としました。

主な内容は、平成21年度の退職者医療交付金の確定に伴い償還金3百62万6千円を追加したものです。

△平成22年度鹿部町老人保健特別会計補正予算について

内容は、平成21年度の決算剰余金12万4千円を平成22年度へ繰入し、歳入歳出の予算総額を百62万4千円としました。

△平成22年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ2百62万9千円を追加し、保険事業勘定の予算総額を2億4千4百3万8千円としました。

主な内容は、平成21年度の国庫支出金の精算に基づき償還金2百11万3千を追加したものです。

△平成22年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

内容は、平成21年度の決算剰余金が7千円となったことから財源調整のための繰越金9万3千円を減額し、歳入歳出の予算総額を3千7百40万7千円としました。

◎報告

△平成21年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

平成21年度の決算数値を基礎とし、算出された健全化判断比率について監査委員の意見をつけて議会へ報告したものです。

その内容は、全ての会計が国の定めた基準をクリアしており、鹿部町の財政は健全な状態にあります。

◎同意

△鹿部町教育委員会委員の任命について

山田豊司氏(字本別53番地414)、正村正廣氏(字宮浜94番地2)、松川明弘氏(字本別73番地)以上3名の任命について同意しました。

◎意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。
◇道路の整備に関する意見書について



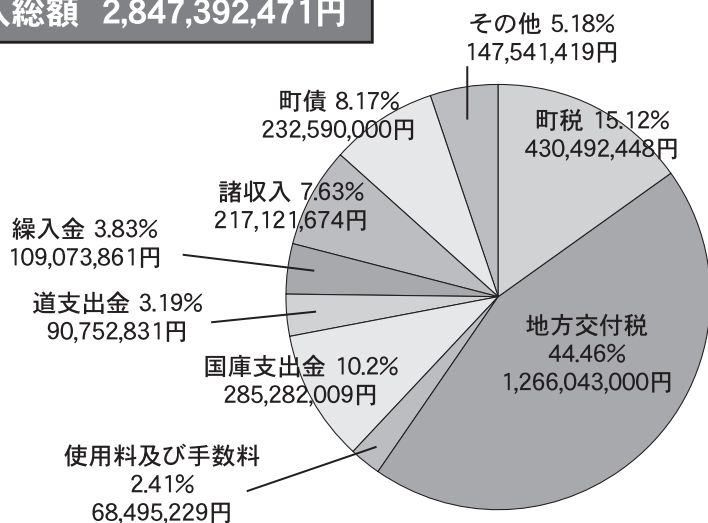
【提出先】

衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣
財務大臣、国土交通大臣

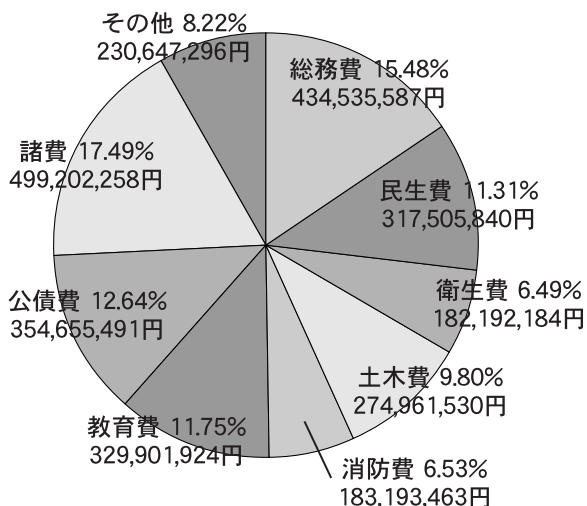
【以上10件、原案とおり可決】

一般会計歳入歳出決算内訳

歳入総額 2,847,392,471円



歳出総額 2,806,795,573円



平成21年度各会計の決算認定は、本会議初日に議長を除く議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、翌日開催した同委員会で慎重に審査した結果いずれの会計も認定すべきものと決定され、本会議において委員長報告がなされ満場一致で認定されました。なお、各会計の決算状況は次のとおりです。

平成21年度各会計歳入歳出決算額

会計別	歳入	歳出	差引き額
一 般	2,847,392,471円	2,806,795,573円	40,596,898円
国 保	825,601,200円	899,791,467円	▲74,190,267円
老 人 保 健	11,960,949円	11,834,990円	125,959円
介護（保 険）	228,699,284円	222,219,804円	6,479,480円
介護（サービ）	820,592円	820,592円	0円
後期高齢者医療	33,197,043円	33,189,670円	7,373円
水道（収益的収支）	105,869,025円	83,830,615円	22,038,410円
水道（資本的収支）	9,849,000円	53,722,912円	▲43,873,912円
合 計	4,063,389,564円	4,112,205,623円	▲48,816,059円

※国保会計の不足額▲74,190,267円については、翌年度歳入繰上充用金により補填されている。また、水道事業会計（資本的収支）の不足額▲43,873,912円は、当年度内部留保資金35,663,589円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,408,357円、建設改良費積立金の取崩し6,431,966円及び減債積立金の取崩し370,000円によって補填されている。

■鹿部バイパスの今後の見通しについて

(質問者)

竹ヶ原公勝 議員

鹿部バイパスは、平成24年度末に全線開通を目標に工事が進められていると聞いておりますが、現在の進捗状況について伺います。

次に取付道路については、前々からお伺いしておりますが、何本位の整備箇所を考えて、その整備事業に対しての補助関係等についてもお聞きします。また鹿部バイパス完成後、現道の国道278号線が将来的に道々または町道になるのかの協議の進捗と、このエリア内の宮浜・鹿部・大岩地区の歩道整備をどのように考えているのか。

最後になりますが、この鹿部バイパスは、避難道路なので交通緩和のための道路であるのか、お伺いします。

■今年度は用地買収を重点的に行っており、8月末現在で総延長の80%の用地処理を終えている。
■取付道路は9路線を計画しています。

■完成後の移管の問題ですが開発局では、今年度中に北海道と協議に入る予定と聞いています。

■現道の歩道整備は、困難であるとの回答を得ている。

■鹿部バイパスは交通緩和のための道路です。
(答弁者)

川村 茂 町長

竹ヶ原議員の一般質問にお答え致します。



一部供用開始されている鹿部バイパス (大岩常呂川付近)

鹿部バイパスについては、今年6月の行政報告並びに7月16日開催の総務経済・民生文教常任委員会合同所管事務調査で鹿部バイパスの事業計画等について、お話をしているところです。最初のご質問の現在の進捗状況ですが、ご承知のように、大岩常呂川から渡島リハビリまでは既に工事が完了し共用開始しております。また、リハビリから鹿

部地区につきましては、路盤改良工事が380m終了しております。

今年度は用地処理を重点的に行うと言うことで、職員4班編成で用地交渉にあたっており、8月末現在で総延長の約80パーセントの用地処理が終えていると報告を受けております。

二点目のバイパスと接続する町道の取り付け箇所数と、その整備事業に対しての補助関係についてのご質問ですが、計画としては、9路線で、バイパス工事としては、取り付け道路の前10m位は用地処理と本工事を開発局で実施致しますが、町が行わなければならない部分については、できるだけ国の社会資本整備交付金事業制度を利用して実施する計画であります。

また、三点目の鹿部バイパス完成後の現道の国道278号の所管の問題ですが、開発局では北海道と道道移管について、今まで正式な協議を行っていないことから、工事完成が早まったことで、今年度中に協議に入る予定と聞いております。次に、現道の歩道整備ですが、時ある毎に要望は致

しておりますが、新規に歩道整備となると用地幅の確保、移転補償等多額の費用がかかることから歩道整備は困難であるとの回答を得ているのが現状であります。しかしながら、未整備区間については、安全の確保のため、今後とも強く要望して参りたいと考えております。

最後の鹿部バイパスは、議員ご承知のとおり、一般国道の整備となっており、結論から申し上げて「交通緩和」のための道路であります。

しかし、駒ヶ岳を抱える当町としての要望は、平成に入ってから8回の小噴火を数えていることから住民が安全・安心して避難できる避難道路として国に要望して参ったところでもあります。その効果があつて、昨年、B/C(ピーバイシー)事業に投じた費用と生じる効果の比率)で一時凍結もありましたが、町の考え方が理解され工事再開となりました。

以上、竹ヶ原議員のご質問に対する答弁といたします。

■再質問、再々質問の要約。(質問者)

竹ヶ原公勝 議員

開発局で用地買収を進めているようですが、大変難しい所があると聞きしました。計画している取付道路以外に、新たに新設する箇所を考えているのか、また現道の移管について今後の見通しをお聞きしたい。

国が避難道路として位置付けているのであれば、現在の計画では大岩地区から海岸線を通ることになっているが、災害時には津波等が予想される。避難道路であれば旧南茅部町のバイパスとつなげるべきである。現在の国道278号線の歩道ですが鹿部・宮浜地区は歩道側に向かって傾斜があるため、自転車が車道側を通行しており、危険な状況にあります。町長の考え方をお伺いしたい。

■再答弁、再々答弁の要約。(答弁者)

川村 茂 町長

まず用地買収が困難を極めていると言うことでありますが、開発建設部の方ではこれからも理解を求めな

から鋭意努力し、今年度中にある程度進めると聞いております。

新たに新設する取付道路については、建設水道課へ検討するよう指示しておりますが、整備するにしても膨大な費用が掛かりますので、国の補助などを含め検討しております。

現道の移管ですが、今年度中に協議に入る事になっておりますので、道々にしてもらいたいと言う事を強く要望して参りたい。

国の仕分作業で、道路事業の予算が削られている中で、道路がつながるかどうかと言うことは今の時点では分かりませんが、開発建設部の方に最終的に南茅部バイパスとつなげてもらうよう要望したい。

現道の歩道整備については、前々から要望しておりますが、開発建設部の方では、中々予算が付かないと言う事ですが、これからも要望して参ります。

■パソコンの利用状況について。(質問者)

佐藤 頼幸 議員

行政一般事務にパソコンは欠かせないものとなっておりますが、パソコンの使用状況について4点ほどお伺いします。

1点目は、どのような業務に活用しているか。

2点目は、全職員がパソコンをマスターしているか。

3点目は、パソコンにはどのようなデータが入っているか。

4点目は、パソコン教室等の開催状況について。

以上4点についてお伺い致します。



■一般事務職員に一人1台のパソコンを配置し、各種文書の作成などを行っています。

■通常業務におけるパソコン操作については全職員がマスターしています。

■日常業務で作成しているデータ等、多岐にわたります。

■全職員を対象に実施しています。

(答弁者) 川村 茂 町長

佐藤議員のご質問にお答え致します。

パソコンの利用は、佐藤議員がおっしゃるとおり行政事務に欠かすことのできないものとなっております。間違いありません。

今や、国や道、他市町村をはじめ、民間企業との事務処理においても、ペーパーによる書類のやり取りはほとんどなく、すべてメールと電子ファイルによるパソコンでの事務処理といっても過言ではありません。

そのような中で町の町役場ですが、先ず、1点目のような業務に活用しているのかですが、職員のパソコン活用については、大

きく2つに区分されます。

1つは、職員各々が日常の事務処理で活用するもので、隔日勤務となる消防職員と幼稚園教員を除き、一般事務職員には、一人1台のパソコンを配置しております。

具体的な事務処理内容ですが、一般的には文書作成ソフト及び表計算ソフトを使用し、各種文書等の作成管理、各種データベースの作成・分析・管理等を行っております。その外、製図ソフトを使用しての図面作成や地図管理ソフトを利用した地図情報管理等、専門的な業務も行っております。2つ目は、総合行政ネットワークシステムに係る活用であります。

具体的に言いますと、住民基本台帳、税金、各保険制度、健康管理、公営住宅等々、当町の行政における様々な分野に関する管理業務であり、基本的にこれら業務には、専用のパソコンが配置されております。

次に、2点目の全職員がパソコンをマスターしているかとの質問でございます。ソフト管理やメンテナンス等、専門的な業務を行う

ようなレベルは、情報業務担当者のみであります。先ほど述べたような通常業務におけるパソコン操作については、全職員がマスターしております。

次に、3点目のパソコンに入っているデータ保管についてですが、ご質問にある「どのようなデータか？」と言われれば前述している日常業務で作成管理しているデータとなり、一般文書やデータベース等々、多岐にわたります。

なお、基本的に各職員が作成したデータは、個々のパソコンで管理するのではなく、電算室に配備しているファイルサーバーに保存管理することになっており、日々、バックアップを行い停電事故やウイルス等でデータが失われることのないようなシステムになっております。

最後に4点目のパソコン教室の開催状況です。

基本的にはパソコンの入れ替えを行った際の各種ソフトのバージョンアップに合わせ、全職員を対象として使い方に関しての教室を開催しています。

パソコン教室の開催状況

ですが、パソコン入れ替え時の平成15、16年度に各2回及び本年8月に3回実施しております。

また、ウイルスや不正アクセス等といったセキュリティ問題に関して、全職員を対象として研修を行っております。

具体的には、管理職、一般職、新規採用職員、情報担当者のコースに分け、平成14年度から毎年度、年次的に行っております。

以上、佐藤議員のご質問に対する答弁といたします。

■再質問、再々質問の要約。

(質問者)

佐藤 頼幸 議員

パソコンを全職員がマスターしていると言う事は分かりました。

パソコンにデータが沢山入っているのであれば議会等にパソコンを持込んで、質問があつた際に、パソコンからデータを取り出し答弁するようなシステムが出来ないものか、また何年でパソコンを更新しているのか、お聞かせ願います。

■再答弁、再々答弁の要約。

(答弁者)

川村 茂 町長

議会の方で許可して戴ければパソコンを持込む事は可能ですが、議員の質問を聞きながらパソコンを操作してデータを取出すと言うのは至難の技だと思えます。また、パソコンの更新ですが、一般的にパソコンの減価償却は4年となっております。

平成15年に導入したパソコンを平成22年に更新しておりますので、実際7年間使用しております。

■駒ヶ岳土石流対策について

(質問者)

朝井 翔一 議員

昭和55年から始まった駒ヶ岳山麓の国有地内泥流対策事業も、今年度の工事をもって完了すると聞いております。

これら一連の工事によって駒ヶ岳噴火などに伴う土石流は、3つの流れにまとめられ、土石は途中何基かの砂防ダムや床固工により留められ、水だけが下流に向かって流れるようになって

していると聞いております。ところが、この土石流の誘導路は、民有地に入った地点付近で姿を消しており、流れ込んだ水はコントロールを失って住宅地に流れ込む状態になっていきます。

これは人命にもかかわる焦眉の問題だと考えられます。町長はその対策をどのように考え、どのような対策を講じられておられるか、お尋ねします。



駒ヶ岳演習場内に整備された床固工

■国有林及び演習場内に設置された砂防ダム、床固工等により、溜水力が発揮されている状況にあります。下流域の整備については、必要であると考えておりますので、北海道・防衛局と協議しながら対策を検討して参ります。

(答弁者)
川村 茂 町長

朝井議員の一般質問にお答え致します。

駒ヶ岳山麓の砂防事業は、上流となります国有林内で砂防ダムや床固工等を計画的に実施しており、国有林内の事業につきましては、今後とも継続されると聞いております。

本年、7月16日開催の総務経済・民生文教常任委員会合同同管事務調査で今年度を持って工事を終えること報告した部分については、鹿部町が受託事業として行つて参りました自衛隊の駒ヶ岳演習場内の砂防工事であります。

駒ヶ岳防災については、現在も学識経験者や関係行政機関で構成する「駒ヶ岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会及び検討部

会」でハード・ソフトの両面から総合的な対策を検討されているところであり、豪雨等で流れ出る流水は、年数の経過による浸透能力の回復と国有林及び演習場内に設置された砂防ダム、床固工等で、最近の短時間に集中される大雨であつても、溜水力が発揮されている状況であります。

しかしながら、ご指摘のように下流域の整備については必要と言う事で前々から北海道、北海道防衛局と打ち合わせを行っているところであり、今後とも、課題事項が山積しておりますが、粘り強く対策を検討して参りますのでご理解を願いたいと存じます。

■再質問、再々質問の要約。(質問者)

朝井 翔一 議員

防衛庁や北海道と協議を行っている。また、検討委員会及び検討部会等の機関を設置されているとお聞きしましたが、現在の進捗状況をお知らせ願います。

以前、専門家の先生にお伺いしましたが、土や石は留められるが水は低い方に

流れると言う事でした。最近では、入山規制が緩んだりしていますが、駒ヶ岳と言うのは何時噴火するか分からない火山なんだと聞いております。危険性が去つたと言う訳じゃありません。今後の見通しをお聞かせ願います。

■再答弁、再々答弁の要約。(答弁者)

川村 茂 町長

平成20年2月に駒ヶ岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会及び検討部会が設置されており、これまでに検討委員会が延べ3回、検討部会が4回開催されており、学識経験者、大学の教授等の意見を含めて今後どのようにして行くかと言う事は、まだ結論が出されていません。

また、駒ヶ岳演習場内の第一期工事は終了となりませんが、国有林内の工事は継続的に行われておりますので、今後の計画については、早期に具体化して参りたいと考えております。

※再質問、再答弁については、要約しております。

第3回臨時会

第3回臨時会は、7月28日に開催され、次の案件について審議されました。

◎承認

△平成22年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、7月20日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ75万円を追加し、予算総額26億9千47万6千円としました。

内容は、鹿部中学校女子柔道部の中体連全道大会出場に伴う参加助成金45万円、鹿部町パークゴルフ場改修工事に係る実施設計委託料30万円を追加したものです。

◎契約

△工事請負契約の締結

【工事名】駒ヶ岳演習場障害防止対策工事（押出沢砂防工事その2）

【契約金額】

8千9百4万円

【契約の相手方】

吉・亘栄特定建設工事共同企業体

△車両購入契約の締結
内容は除雪用の重機を購入するものです。



【購入の名称及び数量】

11t級除雪ドーザー1台

【契約金額】

1千2百57万9千円

【契約の相手方】

北海道川重機株式会社函館支店

◎その他

△北海道市町村備荒資金組

合規約の変更について
内容は、道内14箇所を設置されている支庁の名称が、総合振興局また振興局に変更となったことから規約の一部改正について議会の議決を求めたものです。

【以上4件、原案どおり可決】

一般質問

臨時会

第4回臨時会

第4回臨時会は、10月8日に開催され、次の案件について審議されました。

◎承認

△平成22年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、9月24日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ24万円を追加し、予算総額27億2百13万1千円となりました。

内容は、鹿部中学校サッカー部が苫小牧市で開催される北海道ユース8人制サッカー大会道南ブロック大会の出場権を得たことから参加助成金21万円と送迎バス運転手の旅費3万円を追加したものです。

◎補正予算

△平成22年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ4百43万8千円を追加し、予算総額を27億6百56万9千円としました。

内容は、老人デイサービスセンターの補修工事費2百20万円、鹿部バイパス整

備に係る町有地の立木処理委託料百52万8千円の追加が主なものです。

◎その他

△町有地の処分について

内容は、鹿部バイパスの本線用地となる山村広場の一部を函館開発建設部へ売却するものです。

【売却面積】

5,619.43㎡、(約1,700坪)

△財産の取得について

内容は、大規模災害や武力攻撃事態が発生した際に、国民の保護のため必要な情報を通信衛星と市町村防災行政無線を利用し、住民に伝達するためのシステム、「全国瞬時警報システム、通称：Jアラート」を整備するものです。

【財産の名称】

鹿部町防災情報通信設備整備機材

【種類及び数量】

全国瞬時警報システム受信機一式

【取得金額】

7百35万円

【以上4件、原案どおり可決】

総務経済・民生文教 常任委員会合同所管 事務調査

◇総務経済構成委員

委員長 中川 一

副委員長 川村 裕司

委員 伊藤 辰男

委員 佐藤 頼幸

委員 竹ヶ原公勝

◇民生文教構成委員

委員長 浦 梅吉

副委員長 船橋 敦子

委員 盛田 鐵次

委員 朝井 翔二

委員 野田 重毅

◇調査事項

駒ヶ岳演習場障害防止対策工事について

◇調査実施日

平成22年7月16日

◇調査方法

担当課より、提出された関係資料に基づき説明を受け、現地視察を行った。

◇調査結果

駒ヶ岳演習場障害防止対策工事は、昭和56年から行われ平成8年3月の水蒸気爆発後に防災対策の重要性が認められ平成9年度に策定された全体計画に基づき

継続的に砂防ダム及び床固工などの工事が実施されている。

平成21年度までに砂防ダム14基、床固工34基が完成しており、これまでの総事業費は、32億9千42万円となっている。

今年度は、平成21年度の繰越事業が実施されており、床固工3基の設置工事が実施されているが、今年度をもって一応の工事が終了となる予定である。

これまで順調に、この事業が進められているものと思われるが、全国的に気象状況の変化等から集中豪雨による自然災害等が発生していることから危険箇所点検を望むものである。また、災害発生時における避難体制の充実を図るとともに地域住民の防災意識の向上に努められたい。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、12月上旬に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です。～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。